

令和6年度 脱炭素事業に関する村民説明会【小立野地区】開催要旨

|     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 日 時 | 令和6年6月24日（月） 午後6時30分～午後7時40分                           |
|     | （第1部 村政懇談会：午後6時30分～6時50分）<br>（第2部 脱炭素事業：午後6時50分～7時40分） |
| 場 所 | 小立野公民館                                                 |
| 参加者 | 15名（村民13名、議員2名）                                        |

（第2部 脱炭素事業：午後6時50分～7時40分）

【質問者】

契約プランの件ですが、後期高齢者は太陽光パネルと蓄電池の無いシンプルプランというものにしか加入できないのでしょうか。

【副村長】

PPA17年プラン、PPA10年プランと小売10年プランについては、環境省の脱炭素先行地域づくり事業の補助金が財源であるため、設備の法定耐用年数を考慮して契約者年齢の範囲を設定しています。契約者年齢というのは世帯主の年齢とは限らないので、同世帯に年齢制限範囲内の方がいて、その方が契約していただければシンプルプラン以外での加入も可能です。また契約者年齢はあくまで原則ですので、年齢上限以上の方が契約を希望される場合は、いくさかてらすにご相談をいただければと思います。なお、小売10年プランとシンプルプランにつきましては、高齢者割引等も検討して参ります。

【質問者】

村内に75歳以上の2人世帯と1人世帯はどのくらいありますか。

【村長】

確認をして後日回答させていただきます。

（翌日の村長blogにて、180世帯と回答）

【質問者】

資料にあるモデルケース④のオール電化世帯の値引き率が低いように見え割安感がないように思います。

【村長】

世帯の電気の使い方や家族構成などで割安感は違うと思います。中部電力さんで初期にオール電化の契約をした方は既にかかなりの割引価格だったはずです。今は新規での契約はできないそうです。

【質問者】

料金が安くなるという説明だけだとよくないと思います。以前、停電があってテレビが2日も観られなくなったが、そういう停電が起こった場合に蓄電池が必要だというような説明内容にした方がよいと思います。また小立野ではI C Nに加入していない人もいるため、今回の説明を見ている人は少ないのではないのでしょうか。蓄電池を設置すればI C Nの加入率も上がると思います。

【村長】

蓄電池のみのプランを考えたのは、防災の観点からでもあります。今回はこれらの契約プランをお示しさせていただきましたが、電気料金というのは毎年いろいろな条件が関わってくるので、改定していく可能性もあります。蓄電池の設置も含めて役員で協議しながら進めていきたいと思っています。

【質問者】

中部電力にも色々プランがあると思っていて、いざいくさかてらすに変えてみたら高くなってしまったという人が出てこないか心配しています。

【副村長】

このオール電化のシミュレーションは、中部電力のかなりお得なプランと比較しています。使う時間帯によって変わることも多いです。このプランとの比較でも、いくさかてらすが安くなるシミュレーション結果が出ていますし、中部電力のこのプランは一度解約するともう契約できないので、新たに契約するともう少し割高になり、更にいくさかてらすの割安感が増えます。使う時間帯で料金は変わるので、相談をしていただければシミュレ

ーションをさせていただきたいと思います。電気料の検針票を見てシミュレーションをしまして、その結果を見て納得されればいくさかてらすと契約させていただきたいです。

#### 【村長】

今回の趣旨にはレジリエンスの強化というのも一つあり、停電が年に1、2回ある可能性が村にはありまして、そのときに蓄電池を設置しておけば、使い方にもよりますが2日間ぐらいは支障ないということです。16kWhの蓄電池を設置する予定ですので、4人家族だとうまく使えば3～4日ぐらいは持つようです。オール電化の家庭だとそこまでは持たないかもしれませんが、そういう利点もあるということでご理解いただきたいと思います。

#### 【質問者】

いくさかてらすのキャッシュフローの予定を見ると、20年後に3億5千万円しか残らないようですが、インフレになった場合も考えるとこれで大丈夫ですか。あといくさかてらすの設置した太陽光パネルが耐用年数の20～25年を経過した後や、何かトラブルがあったときに、撤去費用は大体40～50万円かかるはずですが、いくさかてらすで撤去費用はみていただけるのでしょうか。

#### 【エコロミ】

資料の3ページに補償について示してありまして、まず最初に太陽光パネルや蓄電池が不具合を起こしたときには、その契約期間中はいくさかてらすが責任を持って対処するということになります。契約は最長で17年ですがパネルは20～25年使えますし、できれば使った方が良いです。撤去については、いくさかてらすが撤去するということになります。その資金については、資料6ページ目の右側にある20年後の現預金残高3億5千万円の中に、設備の更新費用を見込んでいます。先ほど撤去費用が40万円ほどかかるという話がありましたが、パネルもリサイクル技術が進むと思いますので撤去費用も少しは安くなるのではないかと思います。30万円でもし300軒分としても、1億円ぐらいになりますので、収支的には十分という計算になります。経済産業省の方でも予想建設コストの5%ぐらいを撤去費用として見込んでくださいという方針がありますし、今回そういった意味でも十分賄えるのではないかと考えています。

【質問者】

太陽光パネルは中国製がほとんどのようで、人権問題のあったウイグル自治区でも作られているという話もあります。今回使用するパネルはどこで生産されますか。

【エコロミ】

太陽電池モジュールに関しては、駒ヶ根のネクストエナジーさんという会社の製品を今回使用する予定です。会社は駒ヶ根にありますが、工場は中国にあります。パワーコンディショナーに関しては、パナソニックのOEM品を使う予定です。国内製のものを使ってほしいという皆さんのお気持ちには配慮したいと思っています。

【質問者】

補償費はいくさかてらすの売り上げの何パーセントくらいを想定していますか。

【エコロミ】

今回、損害保険の加入を考えています。保険料の金額という意味では売上の約3%程度を見込んでいます。

【質問者】

発電した電気を農業関係に供給するという計画はありますか。

【副村長】

農業で一番電気料がかかっているのは揚水機だと思います。各水利組合の揚水機の動力についても併せて検討させていただきます。

【村長】

草尾の葡萄畑の方にはマイクログリッドを構築するので、防霜ファンや揚水の動力であったり、ハウスにヒートポンプを導入してそこに供給したりといったようなことも、栽培者と検討していきたいと思っています。

【質問者】

エアコンを付け替えようと思っていて、補助金申請の具体的な方法や、申請した場合に実際どのくらい補助が受けられるのかといったことを、分かりやすく示してもらえると助かります。

**【村づくり推進室長】**

4月25日に全戸配布しました『龍と子Vol.05』の中に、補助対象の省エネ機器等を取り扱っている村内の業者さんが出ておりまして、その指定業者さんへお問い合わせいただければ対応するという形にしておりますが、引き続き『龍と子』を通じて具体例などをPRしていきたいと思っています。